



## 2019年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年11月12日

上場会社名 M-ライフネット生命 上場取引所 東  
 コード番号 7157 URL <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森亮介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部長 (氏名) 木庭康宏 TEL 03-5216-7900  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期（中間期）の業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期中間期	6,097	14.2	△376	—	△384	—
2018年3月期中間期	5,338	6.4	1	—	△15	—

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期中間期	△7.53	—
2018年3月期中間期	△0.30	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期中間期	37,101	13,118	35.4	256.49
2018年3月期	35,541	13,387	37.7	261.77

(参考) 自己資本 2019年3月期中間期 13,118百万円 2018年3月期 13,387百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	12,600	14.9	△1,600	—	△1,600	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料2ページ「1(3)業績予想」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期中間期	51,145,000株	2018年3月期	51,145,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期中間期	一株	2018年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2019年3月期中間期	51,145,000株	2018年3月期中間期	51,145,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、2018年11月13日（火）午後2時に機関投資家、アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。決算説明会における説明内容は、終了後、当社株主・投資家情報ウェブサイト（<https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績 .....	1
(2) 財政状態 .....	1
(3) 業績予想 .....	2
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間貸借対照表 .....	3
(2) 中間損益計算書 .....	4
(3) 中間株主資本等変動計算書 .....	5
(4) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(5) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

**契約の状況**

当第2四半期会計期間の新契約の年換算保険料\*1は、前年同期比164.5%の637百万円、新契約件数は、前年同期比170.7%の14,763件となりました。また、当第2四半期累計期間の新契約の年換算保険料\*1は、前年同期比165.5%の1,209百万円、新契約件数は、前年同期比170.6%の28,048件となりました。

当第2四半期会計期間末の保有契約の年換算保険料\*1は、前事業年度末比107.5%の11,979百万円、保有契約件数は、前事業年度末比107.3%の283,207件となりました。また、当第2四半期累計期間の解約失効率\*2は、6.2%（前年同期6.1%）となりました。

\*1.年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

\*2.解約失効率は、解約・失効の件数を月々の保有契約件数の平均で除した比率を年換算した数値です。

**収支の状況**

当第2四半期累計期間の保険料等収入は、保有契約の増加に伴い、前年同期比112.5%の5,847百万円と増加しました。また、資産運用収益は、前年同期比107.7%の129百万円となりました。その他経常収益は、120百万円となりました。この結果、当第2四半期累計期間の経常収益は、前年同期比114.2%の6,097百万円となりました。

保険金等支払金は、前年同期比128.8%の1,251百万円となりました。保険金及び給付金支払額の保険料に対する割合は、前年同期の16.2%から18.1%と増加しました。責任準備金等繰入額は、前年同期比105.5%の1,885百万円となりました。責任準備金繰入額の保険料に対する割合は、前年同期の35.1%から33.2%に減少しました。事業費は、広告宣伝費を中心とした営業費用を積極的に投下したことなどにより、前年同期比130.6%の2,997百万円となりました。事業費のうち、営業費用は前年同期比154.3%の1,721百万円、保険事務費用は前年同期比112.2%の367百万円、システムその他費用は前年同期比106.6%の908百万円となりました。その他経常費用は、前年同期比119.7%の339百万円となりました。これらにより、当第2四半期累計期間の経常費用は前年同期比121.3%の6,473百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経常損益は、前年同期の経常利益1百万円に対して、経常損失376百万円となりました。中間純損失は、前年同期の15百万円に対して、384百万円となりました。

また、生命保険会社の収益性を示す指標のひとつである基礎利益は、事業費が増加したことなどにより、前年同期の50百万円のプラスに対して、319百万円のマイナスとなりました。内訳は、危険差益1,442百万円、費差損1,756百万円、利差損6百万円となりました。

## (2) 財政状態

**資産、負債及び純資産の状況**

当第2四半期会計期間末の総資産は、37,101百万円（前事業年度末35,541百万円）となりました。主な勘定残高として、高格付けの公社債を中心とする有価証券は、30,222百万円となりました。

負債は、責任準備金が増加したことから、23,983百万円（前事業年度末22,153百万円）となりました。主な勘定残高は、責任準備金22,642百万円、支払備金323百万円となりました。

純資産は、中間純損失を計上したため、13,118百万円（前事業年度末13,387百万円）と減少しました。

当第2四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、2,289.3%（前事業年度末2,455.8%）となり、十分な支払余力を維持しています。

**キャッシュ・フローの状況**

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、事業費が増加したものの、1,475百万円の収入（前年同期1,906百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得により、2,370百万円の支出（前年同期2,010百万円の支出）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、9百万円の支出（前年同期9百万円の支出）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、2,022百万円（前事業年度末2,926百万円）となりました。

(3) 業績予想

当社は、2018年8月10日に発表した2018年度（2019年3月期）の業績予想を以下のとおり修正しました。

(百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (2018年8月10日)	12,300	△800	△600
今回発表予想 (2018年11月12日)	12,600	△1,600	△1,600
(参考) 2017年度実績 (2018年3月期)	10,962	△197	△249

**修正の要因**

当社の新契約業績は、2017年度のがん保険の発売を機に、広告宣伝費を主とする営業費用の積極的な投下により好調に推移し、2018年度第1四半期の新契約業績も継続して伸長しました。この好循環が続く現環境下において、さらなる事業規模の拡大を目指すべく、2018年8月10日付の業績予想修正において発表したとおり、営業費用への積極的な投資を重ねました。これが奏功し、2018年度第2四半期の新契約業績は過去最高水準に近づく実績をもたらし、10月の新契約業績は過去最高となりました。また、2018年度上半期の新契約の1件当たり獲得費用は、2017年度からほぼ一定の効率を維持しています。

本日（2018年11月12日）「新たな経営方針策定のお知らせ」で開示したとおり、新たに策定した経営方針のもと、2018年度上半期の業績伸長と営業効率維持という両面の好実績により、この好循環をさらに加速させるべく、営業費用の積極投下を進めることが、ブランド力と認知度の向上による事業規模の拡大に資すると判断して、当事業年度2度目の業績予想を修正するものです。

なお、以下のとおり、新契約年換算保険料\*1は、期初の業績予想時の1,800百万円から、2,600百万円への伸長を見込み、2018年度は過去最高の新契約業績を目指します。

(参考) 新契約年換算保険料\*1

(百万円)

期初業績予想 (2018年5月15日)	前回発表予想 (2018年8月10日)	今回発表予想 (2018年11月12日)
1,800	2,200	2,600

\*1. 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

引き続き、当社は、毎四半期における決算発表、業績速報等の実績値の開示の充実など、IRマニフェストに掲げている積極的な情報開示を推進することで、ステークホルダーの皆さまの当社に対する理解の促進に努めます。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当中間会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	926	1,022
買入金銭債権	1,999	999
金銭の信託	2,567	3,029
有価証券	28,303	30,222
国債	8,398	8,344
地方債	1,505	1,490
社債	13,892	15,528
株式	346	487
その他の証券	4,161	4,370
有形固定資産	109	92
無形固定資産	621	633
代理店貸	4	4
再保険貸	45	74
その他資産	964	1,022
未収金	802	857
その他の資産	162	165
資産の部合計	35,541	37,101
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	21,186	22,965
支払備金	429	323
責任準備金	20,757	22,642
代理店借	59	49
再保険借	108	125
その他負債	581	574
未払法人税等	23	1
未払費用	427	469
リース債務	33	24
資産除去債務	33	33
その他の負債	64	45
特別法上の準備金	30	37
価格変動準備金	30	37
繰延税金負債	186	231
負債の部合計	22,153	23,983
<b>純資産の部</b>		
資本金	12,136	12,136
資本剰余金	12,136	12,136
資本準備金	12,136	12,136
利益剰余金	△11,365	△11,750
その他利益剰余金	△11,365	△11,750
繰越利益剰余金	△11,365	△11,750
株主資本合計	12,907	12,523
その他有価証券評価差額金	480	594
評価・換算差額等合計	480	594
純資産の部合計	13,387	13,118
負債及び純資産の部合計	35,541	37,101

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
経常収益	5,338	6,097
保険料等収入	5,196	5,847
保険料	5,083	5,682
再保険収入	112	164
資産運用収益	120	129
利息及び配当金等収入	114	113
金銭の信託運用益	6	16
その他経常収益	21	120
支払備金戻入額	3	105
その他の経常収益	18	14
経常費用	5,337	6,473
保険金等支払金	971	1,251
保険金	533	710
給付金	288	318
その他返戻金	—	0
再保険料	149	222
責任準備金等繰入額	1,786	1,885
責任準備金繰入額	1,786	1,885
資産運用費用	0	0
支払利息	0	0
事業費	2,295	2,997
その他経常費用	283	339
経常利益又は経常損失（△）	1	△376
特別損失	4	6
特別法上の準備金繰入額	4	6
価格変動準備金繰入額	4	6
税引前中間純損失（△）	△3	△382
法人税及び住民税	11	2
法人税等合計	11	2
中間純損失（△）	△15	△384

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間（自2017年4月1日 至2017年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
当期首残高	12,136	12,136	12,136	△11,116	△11,116	13,157
当中間期変動額						
中間純損失（△）				△15	△15	△15
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）						
当中間期変動額合計	—	—	—	△15	△15	△15
当中間期末残高	12,136	12,136	12,136	△11,131	△11,131	13,141

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	488	488	13,645
当中間期変動額			
中間純損失（△）			△15
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	3	3	3
当中間期変動額合計	3	3	△11
当中間期末残高	492	492	13,633



当中間会計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
当期首残高	12,136	12,136	12,136	△11,365	△11,365	12,907
当中間期変動額						
中間純損失（△）				△384	△384	△384
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）						
当中間期変動額合計	－	－	－	△384	△384	△384
当中間期末残高	12,136	12,136	12,136	△11,750	△11,750	12,523

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	480	480	13,387
当中間期変動額			
中間純損失（△）			△384
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	114	114	114
当中間期変動額合計	114	114	△269
当中間期末残高	594	594	13,118

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純損失 (△)	△3	△382
減価償却費	122	126
支払備金の増減額 (△は減少)	△3	△105
責任準備金の増減額 (△は減少)	1,786	1,885
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	4	6
利息及び配当金等収入	△114	△113
支払利息	0	0
代理店貸の増減額 (△は増加)	△0	△0
再保険貸の増減額 (△は増加)	△16	△29
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△31	△53
代理店借の増減額 (△は減少)	△1	△9
再保険借の増減額 (△は減少)	7	16
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△6	45
その他	△6	△16
小計	1,738	1,369
利息及び配当金等の受取額	156	132
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	12	△25
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,906	1,475
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
金銭の信託の増加による支出	△500	△300
有価証券の取得による支出	△3,802	△2,641
有価証券の売却・償還による収入	2,470	715
資産運用活動計	△1,832	△2,226
営業活動及び資産運用活動計	73	△751
有形固定資産の取得による支出	△17	△18
無形固定資産の取得による支出	△160	△124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,010	△2,370
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△114	△903
現金及び現金同等物の期首残高	3,004	2,926
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,890	2,022

(5) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。